

## 2011 年度

### 事業報告書

特定非営利活動法人ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト

#### 1 年間報告 (2011 年 4 月～2012 年 3 月)

今年度も、日本経団連自然保護基金の助成金を得る事が出来、平成 22 年度同様に、サバル森林保護地区での 50ha 達成を目指す事が出来た。現地の先住民族も、効率的な作業で、上半期で、28.95ha を達成出来、各回の植林で、多少の余裕が出来た関係で、その時間を、既に植えた場所の、草刈りなどの維持活動に割り当てる事が出来た。どうしても、先住民族の日常の生活である農耕や果物の季節は、活動を行えない為、もう少し、緻密な年間計画を持つ必要があることを痛感した。

又、サラワク州森林局の植林部の部長、及び、副部長が、新任に代わり、分野の異なる部門からの移動のため、前任の方に比べ、当団体が継続している植林の活動への理解度が心配されたが、積極的に、植林地を訪れて頂く事が出来て、その懸念も払拭されました。

尚、今年度にて、サラワク州森林局より指定されている地域 (200ha) の植林が全て終了し、平成 24 年度よりは、サバル森林保護地区の新しい地域となるが、新規の植林と共に、植林の終了した地域の維持活動も、10 年前後は続けていかなければならない。

#### 2 詳細

##### 1) サラワク州森林局の担当者との年度計画の打ち合わせ

日時・場所： 2011 年 4 月 28 日 サラワク州森林局植林部会議室

出席者： Mr. Hii Tow Peck (サラワク州森林局植林部部長),  
Mr. Johin Ngyop (サラワク州森林局植林部副部長)  
Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長) 延べ 5 名

内容： 経団連の助成金を受けての、植林活動の拡大における体制と、サラワク州森林局の協力の方向性や、植林活動の問題点や課題に関する打ち合わせ。

##### 2) サバル森林保護地区近隣の先住民族との打ち合わせ

日時・場所： 2011 年 5 月 5 日 サバル・クルイン村にて。

出席者： Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)

鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)

Mr. Ekin Empati 他村人 15 名延べ 19 名

内容： 年間計画における、植林の日程の計画や、人員に関する打ち合わせ。効率の良い時期の設定、先住民族の農耕作業との兼ね合いができる日程の考慮、等の打ち合わせ。

### 3) サバル森林保護地区の平成22年度植林予定地の土壌調査

日時・場所： 2011年5月8日～10日 サバル森林保護地区にて

出席者： Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部),  
Dr. Mohd. Effendi Bin Wasli (UNIMAS 大学 生物学部 講師)、  
Mr. Bagong Bundan 延べ3名

内容： 今年度の植林予定地の50haで、植生や環境の異なる数箇所で、土壌サンプル調査と環境調査をし、適正植林樹種の選定を行った。

### 4) サバル森林保護地区第1回植林

この地域の残された50haは、全体的に、開けた地域に植林をしないといけない為、それに適応している *Dryobalanops beccarii* を中心に植林をし、先住民族10名で、15日間の作業を行いました。

6月1日は、先住民族の収穫祭に当たる関係で、その準備の期間を考慮した。

・日時、場所 2011年5月11日～5月25日 サバル森林保護地区  
3300本 (8.25 ha)

樹種： *Dryobalanops beccarii*

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)  
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)  
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)  
先住民族10名 他

### 5) サバル森林保護地区第2回植林 + 東京かがやきメイト

第2回の場所は、第1回と同様な条件の為、同じ樹種を植林した。サラワク州森林局の諸事情の為、6月に植林をする事が出来ず、上半期の予定を下回る事が予想されたが、一番、暑い乾季の7~8月に、現地の先住民族の人々が奮闘してくれたのは、幸いだったが、先住民族の人々も6月の後半に少しでも作業が出来ればよかったとの意見であった。

8月1日には、東京都の教職員の方の東京いきいき体験(今回は、ツアーの特性上、かがやきメイト)の皆様が、4年連続になる植林活動をして頂きました。

・日時、場所 2011年7月18日～8月8日 サバル森林保護地区  
5249本 (13.15ha)

樹種： *Dryobalanops beccarii*

・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)  
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)  
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)  
先住民族10名 他

### 6) サバル森林保護地区第3回植林

8月後半~9月に掛けて、農耕の作業がある為、このままでは、上半期目標の25haを大幅に下回るの、第2回より1週間の間を空けて、8月15日よりすぐに、第3回を始めたのですが、やはり、最も暑い乾季と、十分な休養も取れず、効率が悪く、6月の後半に植林を少しでも入れていればと、全員の意見であった。今後の課題である。

・日時、場所 2011年8月15日～8月24日 サバル森林保護地区

3030 本 (7.55 ha )

樹種 : *Dryobalanops Beccarii*

- ・ 従事者 Mr. Jonathan Lat ( サラワク州森林局植林部)  
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)  
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)  
先住民族 10 名 他

#### 7) サバル森林保護地区第 4 回植林 + 立教大学 観光学部

第 4 回は、10 月の初旬に行う予定でしたが、乾季と雨季の端境期に、連日の集中豪雨で、10 月の後半の開始となりました。11 月 4 日の立教大学の観光学部の学生の方々の植林は、ラインと、植林ポイントの準備のみで、穴掘りや苗運びを全部してもらう事で、植林活動の体験をしてもらいました。先住民族の中には、もどかしく思い、手を出して手伝う者もいましたが、大半の学生は、やり遂げました。

- ・ 日時、場所 2011 年 10 月 23 日～11 月 4 日 サバル森林保護地区  
2670 本 (6.7 ha )

樹種 : *Dryobalanops Beccarii*

- ・ 従事者 Mr. Jonathan Lat ( サラワク州森林局植林部)  
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)  
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)  
先住民族 10 名 他

#### 8) サバル森林保護地区第 5 回植林

第 5 回の場所は、前回までが、遅れ気味のスタートでしたので、本格的な雨季に入る前にと、出来るだけ植林を進めたいと、12 月に第 5 回を行いました。今回は、二次林の影のある地域もありましたので、フタバガキ科の 5 種を混載して、植林をしました。

- ・ 日時、場所 2011 年 12 月 7 日～12 月 21 日 サバル森林保護地区  
3710 本 (9.3 ha )

樹種 : *Dryobalanops beccarii* / *Shorea Rubra* / *Shorea parvifolia* /  
*Shorea palembanica* / *Dryobalanops Oblongifolia*

- ・ 従事者 Mr. Jonathan Lat ( サラワク州森林局植林部)  
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)  
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)  
先住民族 15 名 他

#### 9) サバル森林保護地区 東京羽田ロータリークラブ (2ha) + 上田東ロータリークラブ (1ha)

当初、年度内に、東京羽田ロータリークラブの方々が、植林に来られる予定でしたが、結局、今年度は、断念される事が決定し、2 月 18 日に来られる上田東ロータリークラブの準備と植林期間を延長して、東京羽田ロータリークラブの 2ha も、行いました。

- ・ 日時、場所 2012 年 2 月 13 日～2 月 22 日 サバル森林保護地区  
1200 本 (3.0 ha )

樹種 : *Dryobalanops Beccarii*

- ・ 従事者 Mr. Jonathan Lat ( サラワク州森林局植林部)  
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)  
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)  
先住民族 10 名 他

10) サバル森林保護地区 バグースサラワク会、エコプロダクツの森 2011、関西澤井隊 (N. GKS)

最後に、3 月に、バグースサラワク会の 0.5ha、エコプロダクツ 2011 のオランウータンのぬいぐるみ販売による代行植林 (1.0ha)、関西澤井隊の 2.5ha の計 4.0ha の植林を行いました。関西澤井隊の植林の 3 月 18 日には、近隣の小学生約 80 名が参加して、「木を植え、心を育てる」事を感じた。

- ・ 日時、場所 2011 年 3 月 5 日～3 月 23 日 サバル森林保護地区  
1600 本 (4.0 ha )

樹種 : *Dryobalanops Beccarii*

- ・ 従事者 Mr. Jonathan Lat ( サラワク州森林局植林部)  
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 理事長)  
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト 副理事長)  
先住民族 10 名 他

以上